

# 〈公開〉生と死の物語

東北と熊本の大震災のほか、様々な災害を体験する中で、人間生活の足元を見直すが増えています。その中心には、息の長い取り組みが必要となる生と死の問題があります。皆様のご参加とご協力をいただきながら、本研究所では今年度も公開講座開催と『死生学年報』の出版を柱として精進してまいります。

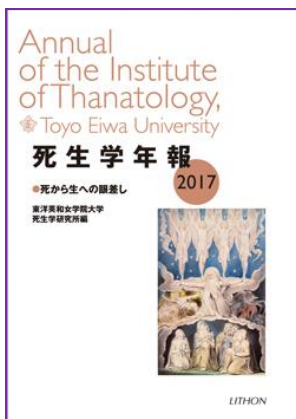
東洋英和女学院大学 死生学研究所所長  
2017年4月 渡辺和子

- 会場 東洋英和女学院大学大学院 201 教室  
六本木駅（日比谷線徒歩10分）麻布十番駅（大江戸線徒歩5分、南北線徒歩7分）
- 参加費 連続講座各回 500 円・シンポジウム各回 1,000 円  
(本学院在校生・教職員は全回無料)
- 事前申込不要 □当日先着順 100 名様
- 問合せ先 東洋英和女学院大学死生学研究所  
〒106-8507 東京都港区六本木 5-14-40 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

日程 (土曜日) 30 分前から受付開始			発表者	所属	題目
4月22日	14:40~ 16:10	第1回 連続講座	津曲真一	本学非常勤講師	チベット人と聖地巡礼
	16:20~ 17:50	第2回 連続講座	北沢 裕	本学非常勤講師	旅と変容 —異世界・驚異・巡礼—
5月20日	14:40~ 16:10	第3回 連続講座	コーディネーター 渡辺和子	本学人間科学部教授	〈ラウンドテーブル〉『エリザベート』を語る
	16:20~ 17:50	第4回 連続講座	笠原真理子	東京大学大学院文化資源 学研究専攻博士後期課程	初演演出から考える ミュージカル《エリザベート》
7月15日	14:40~ 16:10	第5回 連続講座	三津間康幸	東京大学大学院総合文化 研究科学術研究員	古代バビロニアの占星術に見る人間の生と死
	16:20~ 17:50	第6回 連続講座	比留間亮平	本学非常勤講師	星の動きと人の命運:西洋占星術の理論と背景
10月7日	14:40~ 17:50	シンポジウム 諸宗教の死生観と 看取りの実践	高瀬顕功	大正大学地域構想研究 所 BSR 推進センター助教	浄土宗の死生観と死者供養
			奥原幹雄	金光教気仙沼教会 副教会長	金光教の死生観 —生きても死にても天地は住家—
			山田弘子	GLA 理事(東京本部担当)	人間を魂としてみる死生観に基づく葬制と看取り 井口清吾(上尾厚生病院副院長兼ホスピス棟長)「医療現場での取り組み」
2018年 1月13日	14:40~ 16:10	第7回 連続講座	大林雅之	本学人間科学部教授	死に向かう生と性 —老成学の視点から—
	16:20~ 17:50	第8回 連続講座	奥野滋子	順天堂大学医学部 客員准教授	終末期医療と看取りのいま
2月17日	14:40~ 16:10	第9回 連続講座	尾崎博美	本学人間科学部 准教授	命の価値は「教え」られるか? —生と死を「学ぶ」授業実践を通して—
	16:20~ 17:50	第10回 連続講座	福田 周	本学人間科学部教授	高村光太郎 —智恵子抄 心の病に寄り沿うということ—

〔公財〕国際宗教研究所・共催  
「生と死」研究会第16回例会  
司会・渡辺和子

〈2017年4月1日作成〉



東洋英和女学院大学死生学研究所編(リトン刊)

## 『死生学年報2017 死から生への眼差し』

定価 2,500 円+税 一般書店でご注文・ご購入いただけます